



食を通じて環境に優しい暮らしを築くために

「もったいない」の心を持って、食べ残しを減らしたり身近な地域でとれる農林水産物を積極的に活用する地産地消を進めるなど、食べ物の消費と生産の両面から、環境への配慮に取り組みました。

1 食生活における環境への配慮の徹底

「食べ残し探検バスツアー！豚さんのご飯ができるまで」開催

瀬戸市

●実施時期：平成30年7月25日

●対象者：小学生とその保護者

●内容

可燃ごみに含まれる食品ロスを含む生ごみの比率は一番高いため、スーパー等で発生する食品残渣が豚の飼料にリサイクルされる流れを実際に見学することで、生ごみ（食品残渣）を理解し、食品ロス削減の啓発につなげることを目的としたバスツアーを開催しました。

晴丘センター（尾張東部衛生組合）、アピタ瀬戸店、中部有機リサイクル（株）などを見学し、スーパーで発生した食品残渣から飼料を作り、その飼料で育った豚肉などがスーパーで販売される流れ（リサイクルループ）を学びました。

また、ツアー中、食品ロスに関する講習会もあわせて開催しました。

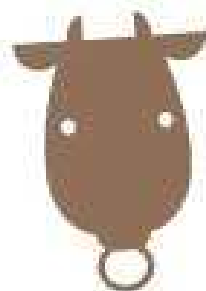
●活動の成果、今後の課題

食品ロスの削減に直接関わる事業所の見学は調整が難しかったが、生ごみや「もったいない」について考える機会を提供できたものと思われます。時期が夏で臭気が強かったこともあり、生ごみ（食品残渣）を前にして目をそむける参加者もいましたが、概ね主旨を理解いただけたと思われます。



〈取組項目：子どもに対する環境学習の推進〉

〈取組場面：学校〉



エコアクション推進フェアの開催

愛知県環境活動推進課

●実施時期：平成30年11月17日、18日

●対象者：県民

●内容

環境に配慮した食生活の実践など、地球にやさしい身近な環境配慮行動「エコアクション」を県民の皆様が取り組んでいただくきっかけとなるよう、参加型の環境イベントを開催しました。

大村知事とジブリソング歌手の井上あずみさんのトークショー、環境にやさしいお買い物クイズ、地元アイドルグループのパフォーマンス、環境活動に取り組む団体・企業の展示・ワークショップなどを行いました。



●活動の成果、今後の課題

2日間で約15,000人の方にご来場いただき、楽しみながら「エコアクション」への理解を深める体験をしていただきました。

更に多くの皆様に「エコアクション」に取り組んでいただけるよう、多くの主体と連携しながら魅力のあるイベントにしていきたいと思っております。



〈取組項目：環境に配慮した食生活の実践〉

〈取組場面：地域〉

おから味噌づくりで食品ロスを減らそう

食育推進ボランティアグループ「ハピ食」

●実施時期：平成31年1月21日

●対象者：名古屋市民

●内容

食品ロスについて身近な場面で減らしていきたいと思い、おから味噌に出会い、インストラクターの資格を取得しました。おからの9割が廃棄になり処分されているということを知り少しでも廃棄を減らし食品ロスに貢献できたらと思い、おから味噌づくりを開催しました。

おから味噌づくりと同時に、おからを使った料理の紹介やおからが身体、健康に良いということについて伝えていきたいと思っておから味噌づくりをとおして、手づく味噌を家庭でも手軽に作ってもらいたい、また、このおから味噌を使ったセルフ味噌汁講座も開催しました。マグカップを使い老若男女手軽に味噌に親んでもらいたいとセルフ味噌の作り置き講座も開催しました。

●活動の成果、今後の課題

参加者から、「おから」が食品として利用されるより廃棄になってしまうことが多いことに驚いていました。参加者と「おから」を使った料理の情報交換や「おから」に対するイメージを共有することができました。おから味噌づくりは火を使わず、材料も手軽であるということから味噌づくりは面倒という概念がなくなり自分で作りたいという声が多かったです。





今後も同様に続けていきたいと考えています。

〈取組項目：環境に配慮した食生活の実践〉

〈取組場面：地域〉

2 農林水産業への理解と地産地消の一層の推進

食育・農業プロモーション映像制作	
安城市	
<p>●実施時期：平成30年4月以降作成、平成31年2月 完成・披露</p> <p>●対象者：主に市内小・中学生および若い世代</p>	
<p>●内容</p> <p>食育の普及・啓発と安城農業の広域的なPRのため、プロモーション映像の制作をしました。来年度以降に市内小・中学生の「食育」の授業にて活用し、また、一般に向けてはWEBや各種イベント等での情報発信を予定しています。</p> <p>実際に農業に携わる若い農業者が主体となって制作に取り組み、自ら出演することで、農業の魅力をPRし、若い世代に農業に興味を持ってもらうことを目的としています。</p> <p>●活動の成果、今後の課題</p> <p>若い農業者が出演することで、若者の農業に対するイメージを変えることができると考えます。安城農業の魅力をどこまでPRできるか、農業に興味を持った若い世代が将来どのような選択をしていくのか、長期的に注視することが今後の課題と考えます。</p>	
〈取組項目：農林水産業への関心と理解を深める取組の推進〉	〈取組場面：地域〉

ええじゃないか豊橋まちなかマルシェ 豊川用水通水50周年記念「通水の日」イベント	
愛知県農地計画課	
<p>●実施時期：平成30年6月3日</p> <p>●対象者：県民</p>	
<p>●内容</p> <p>豊川用水は平成30年6月1日に、全面通水から50周年を迎えました。この節目の年を絶好のPRの機会と捉え、豊川用水の恩恵等を住民にPRし、水の大切さや豊川用水の歴史について学んでいただく機会とするため、豊川用水の水源地域や豊川用水受益地内の農産物を販売するイベントを行いました。</p> <p>●活動の成果、今後の課題</p> <p>約6,000名の方に参加していただき、豊川用水の恵みを楽しんでいたがながら、水の大切さや豊川用水の歴史について学んでいただく良い機会となりました。今後も、県内の大規模な用水の歴史の節目には、このようなPRイベントを開催し、より多くの県民に啓発していくことが必要だと考えます。</p>	
 	
〈取組項目：農林水産業への関心と理解を深める取組の推進〉	〈取組場面：地域〉

親子工場見学会

公益財団法人愛知県学校給食会

●実施時期：平成30年7月7日

●対象者：県内の小学生親子

●内容

この取組は、学校給食に使用されている食材がどのようにして製造されているかを学習し、学校給食への理解と食への関心を高めるために実施しています。学校給食で毎日飲んでいる牛乳について学習するため、県内の小学生親子12組24名の参加者と、豊橋市にある中央製乳㈱と牛舎見学へ行き、牛乳の製造工程を学びました。



●活動の成果、今後の課題

毎日学校給食で提供されている牛乳が徹底された衛生管理のもとに製造されている工程や、酪農家から乳牛の飼育について詳しく学ぶことにより、学校給食への理解を深めるとともに生産者の大変さを学ぶことができました。



参加者アンケートでは、約90%の方が「勉強になり、よかった」と回答しており、今後も継続していきたいと考えています。

〈取組項目：子どもに対する地産地消の理解と利用の促進〉

〈取組場面：学校〉

地元の“おいしい”が大集合！「豊橋市場まつり」

豊橋地域地方卸売市場研究協議会、豊橋市、株式会社サイエンス・クリエイト

●実施時期：平成30年11月3日

●対象者：市民

●内容

まちの台所である市内の2つの地方卸売市場が中心となって消費者に対する地産地消の推進と飲食業者の市場流通による商流構築の推進を図るため、地元産を中心とした農産物の販売、市場見学ツアー&模擬セリ体験、飲食店向け農産物取引相談会を行いました。より幅広い年齢の来場者に楽しんでいただくために野菜をテーマにしたゲームコーナーを設置しました。会場には市内の事業者が出店し、地元産農産物を使用した飲食物を販売しました。



●活動の成果、今後の課題


初の試みであるにもかかわらず、当日は予想を超える多くの人でにぎわい、およそ2,000名を超える来場者があったものと見られます。消費者の方の地元市場が開催するイベントへの期待への大きさを感じました。

〈取組項目：青年期以降における地産地消の実践〉

〈取組場面：地域〉

3 農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底

フードドライブ活動	
日本労働組合総連合会 愛知県連合会	
●実施時期：平成 30 年 11 月 5 日	●対象者：市民
<p>●内容</p> <p>連合愛知の新たなボランティアとしてフードバンクと連携した取り組みを検討している中で、フードドライブという活動を知り、今後の方向性に向けた検討をするために実施しました。セカンドハーベスト名古屋様からアドバイス等をいただき、愛知県中央メーダーの会場にて、フードドライブを実施し食品を集めました。集めた食品については、セカンドハーベスト名古屋様に寄付しました。(当日出席者：約 3,000 人)</p> <p>●活動の成果、今後の課題</p> <p>初めて実施するため、実際にどれだけ食品が集まるかが不安でしたが多くの参加者から食品を寄付していただき、合計で 166.6 キログラムの食品を集めることができました。</p> <p>課題として、愛知県中央メーダーの会場は栄で実施しているため、遠方から参加する方は持ってくるのが手間になってしまいます。参加者にとって、食品を集める場所が近いほうが食品を持っていきやすいため、集める場所を検討する必要があると考えました。</p>	 
〈取組項目：フードバンク活動の普及啓発〉	〈取組場面：地域〉

フードドライブ～ご家庭に眠っている食品大募集！～	
長久手市、長久手市社会福祉協議会	
●実施時期：平成 30 年 11 月 6 日～11 日	●対象者：誰でも可能
<p>●内容</p> <p>賞味期限の近接や包装不良等により、まだ食べられる大量の食品が捨てられている問題を背景に、ご家庭で賞味期限は切れていないが、忘れられて保管されている「もったいない食品」を持ち寄り、集めて、フードバンクに寄附するイベントです。</p> <p>平成 30 年 11 月 6 日～11 日の期間、長久手市社会福祉協議会と市役所福祉施策課を窓口で募集したところ、寄付者 82 名、寄附食品総計 1,046 点 600.8kg の米類や乾物等の食品が集まりました。</p> <p>いただいた食品は、フードバンクを担う「NPO 法人セカンドハーベスト」名古屋へ寄附されました。</p> <p>●活動の成果、今後の課題</p> <p>昨年よりも多くの方から食品の寄附をしていただきました。今後もイベントとしてだけではなく、フードバンク活動への理解促進を図るとともに、背景にある食品ロスの問題についても周知していきたいと思えます。</p>	
〈取組項目：フードバンク活動の普及啓発〉	〈取組場面：地域〉